

(2) 騒音

調査、予測及び評価の手法は、表 4-2-1-2 に示すとおりである。

表 4-2-1-2 (1) 調査、予測及び評価の手法 (騒音)

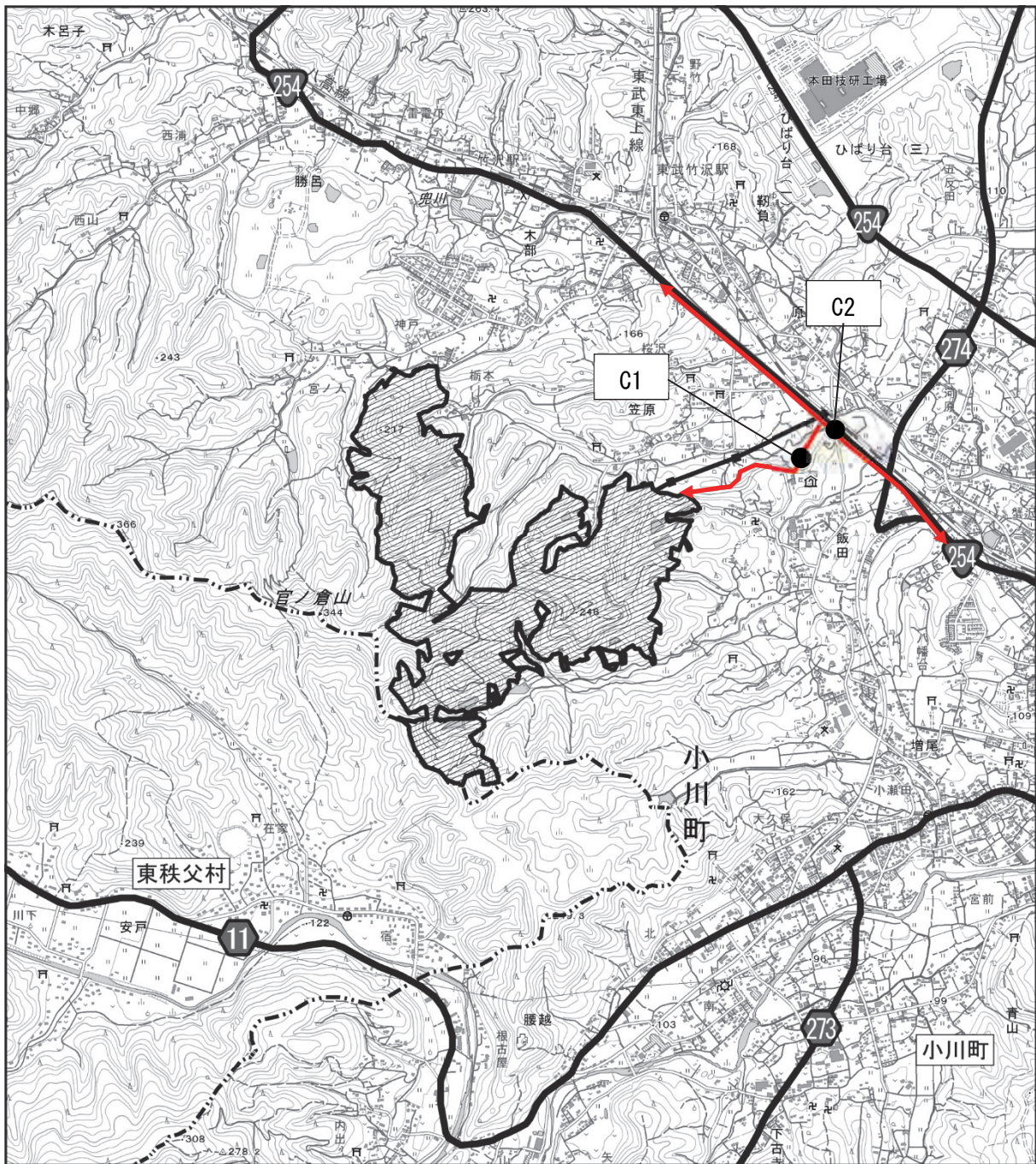
| 項目 | | 影響要因の区分 | 調査、予測及び評価の手法 | 方法書からの変更点 |
|---------|----|--|---|-----------|
| 環境要素の区分 | 騒音 | | | |
| 大気環境 | 騒音 | 騒音 <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光パネル等の撤去 ・ 工事用資材等の搬出入、廃棄 ・ 建設機械の稼働 | <p>1 調査すべき情報</p> <p>① 道路交通騒音の状況</p> <p>② 沿道の状況</p> <p>③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況</p> <p>④ 騒音の状況</p> <p>⑤ 地表面の状況</p> <p>⑥ その他の予測・評価に必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の発生源の状況 ・ 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況 | |
| | | | <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>① 道路交通騒音の状況</p> <p>【文献その他資料調査】 自動車交通騒音実態調査結果等の既存資料データの整理及び解析を行った。</p> <p>【現地調査】 「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成27年 環境省)に基づき、等価騒音レベル(L_{Aeq})の測定を行い、調査結果の整理及び解析を行った。</p> <p>② 沿道の状況</p> <p>【文献その他資料調査】 「地形図」(国土地理院)等の整理及び解析を行った。</p> <p>【現地調査】 現地踏査により、対象事業実施区域及びその周辺、並びに工事中の資材運搬等の車両の走行経路周辺の地形及び建築物の状況を把握した。</p> <p>③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況</p> <p>「(1) 大気質(窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等)の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。</p> <p>④ 騒音の状況</p> <p>【現地調査】 「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成27年 環境省)に基づき、等価騒音レベル(L_{Aeq})の測定を行い、調査結果の整理及び解析を行った。</p> <p>⑤ 地表面の状況 現地踏査、地形図、空中写真等から把握した。</p> <p>⑥ その他の予測・評価に必要な事項</p> <p>「(1) 大気質(窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等)の表 4-2-1-1 ⑤その他の予測・評価に必要な事項」と同様とする。</p> | |
| | | | <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺とした。</p> | |

表 4-2-1-2 (2) 調査、予測及び評価の手法 (騒音)








| 項目 | | | 調査、予測及び評価の手法 | 方法書からの変更点 |
|---------|---------|---|---|-------------------------|
| 環境要素の区分 | 影響要因の区分 | | | |
| 大気環境 | 騒音 | 騒音 ・工事用資材等の搬出入、廃棄 ・太陽光パネル等の撤去 ・建設機械の稼働 | <p>4 調査地点</p> <p>① 道路交通騒音の状況 【現地調査】 主要なルートを代表する地点として、図 4-2-1-7に示す2地点とした。</p> <p>③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 「(1) 大気質 (窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等) の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。</p> <p>④ 騒音の状況 【現地調査】 図4-2-1-8に示す対象事業実施区域における環境騒音を代表すると考えられる2地点とした。</p> | |
| | | | <p>5 調査期間等</p> <p>① 道路交通騒音の状況 【文献その他資料調査】 最新の資料とした。 【現地調査】 道路交通騒音の現地調査は、交通量が平均的となる平日 (土日祝日の前後の日を除く) 及び休日 (土曜日) の6時~22時に実施した。 平日: 令和元年11月21日 (木) 6時~22時 休日: 令和2年11月7日 (土) 6時~22時</p> <p>② 沿道の状況 【文献その他資料調査】 最新の資料とした。 【現地調査】 「①道路交通騒音の状況」の時期に実施した。</p> <p>③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 「(1) 大気質 (窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等) の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。</p> <p>④ 騒音の状況 【現地調査】 現地調査は、平日及び休日 (土曜日から日曜日に掛けて) の24時間に実施した。 平日: 令和元年11月21日 (木) 6時~22日 (金) 6時 休日: 令和2年11月7日 (土) 6時~8日 (日) 6時</p> <p>⑤ 地表面の状況 【文献その他資料調査】 最新の資料とした。</p> <p>⑥ その他の予測・評価に必要な事項 「(1) 大気質 (窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等) の表 4-2-1-1 ⑤その他の予測・評価に必要な事項」と同様とする。</p> | 土曜日の工事実施を想定して休日調査を追加した。 |

表 4-2-1-2 (3) 調査、予測及び評価の手法 (騒音)

| 項目 | | | 調査、予測及び評価の手法 | 方法書からの変更点 |
|---------|----|---|---|-----------|
| 環境要素の区分 | | 影響要因の区分 | | |
| 大気環境 | 騒音 | 騒音 <ul style="list-style-type: none"> ・ 工 ・ 事 ・ 用 ・ 資 ・ 材 ・ 等 ・ の ・ 搬 ・ 出 ・ 入 ・ 。 ・ 太 ・ 陽 ・ 光 ・ パ ・ ネ ・ ル ・ 等 ・ の ・ 撤 ・ 去 ・ 。 ・ 建 ・ 設 ・ 機 ・ 械 ・ の ・ 稼 ・ 働 | <p>6 予測の基本的な手法</p> <p>① 工</p> <p>② 建</p> <p>③ 施</p> | |
| | | | <p>7 予測地域・予測地点</p> <p>① 工</p> <p>② 建</p> <p>③ 施</p> | |
| | | | <p>8 予測対象時期</p> <p>① 工</p> <p>② 建</p> <p>③ 施</p> | |
| | | | <p>9 評価の手法</p> <p><環境影響の回避・低減に係る評価></p> <p><国又は地方公共団体による基準又は目標との整合性の検討></p> | |



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  主要道路
-  国道
-  主要地方道・一般県道
-  工事中・撤去時の資材運搬等車両の走行ルート
-  調査地点（騒音、振動、交通量）






1:25,000

0 250 500 750 1,000
m

図 4-2-1-7 騒音・振動・
交通量調査地点
(現地調査)



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  調査地点（騒音、振動、低周波音）



1:15,000

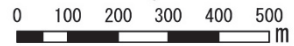





図 4-2-1-8 騒音、振動、
低周波音調査地点



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  予測地点（騒音、低周波音、振動）

※予測項目

- 建設機械の稼働（騒音、振動）
- 施設の稼働（騒音、低周波音）



1:15,000

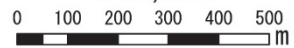


図 4-2-1-9 騒音、低周波音、振動予測地点

(3) 振動

調査、予測及び評価の手法は、表 4-2-1-3 に示すとおりである。

表 4-2-1-3 (1) 調査、予測及び評価の手法 (振動)

| 項目 | | | 影響要因の区分 | 調査、予測及び評価の手法 | 方法書からの変更点 |
|---------|----|----|--|--|-----------|
| 環境要素の区分 | | | | | |
| 大気環境 | 振動 | 振動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事用資材等の搬出入、廃棄 ・ 建設機械の稼働 | 1 調査すべき情報 ① 道路交通振動の状況 ② 沿道の状況 ③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 ④ 地盤の状況 ⑤ 振動の状況 ⑥ その他の予測・評価に必要な事項 ・ 既存の発生源の状況 ・ 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況 | |
| | | | | 2 調査の基本的な手法 ① 道路交通振動の状況 【現地調査】 「振動規制法施行規則」(昭和51年 総理府令第58号)及びJIS Z 8735「振動レベルの測定方法」に定められた測定方法により時間率振動レベル(L ₁₀)の測定を行い、調査結果の整理及び解析を行った。 ② 沿道の状況 【文献その他資料調査】 「地形図」(国土地理院)等の整理及び解析を行った。 【現地調査】 現地調査により調査地点周辺の住居、環境保全で配慮が必要な施設、路面及び周辺の土地利用状況等を確認した。 ③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 「(1) 大気質(窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等)の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。 ④ 地盤の状況 【文献その他資料調査】 「地形図」(国土地理院)等の整理及び解析を行った。 【現地調査】 大型車の単独走行時を対象として、対象車両通過ごとに振動レベル計(JIS C 1510)及び1/3 オクターブバンド分析器により振動加速度レベルが最大を示す周波数帯の中心周波数を読み取り、これらを平均し卓越周波数(振動数)を測定した。 ⑤ 振動の状況 【現地調査】 「振動規制法施行規則」(昭和51年 総理府令第58号)及びJIS Z 8735「振動レベルの測定方法」に定められた測定方法により時間率振動レベル(L ₁₀)の測定を行い、調査結果の整理及び解析を行った。 ⑥ その他の予測・評価に必要な事項 「(1) 大気質(窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等)の表 4-2-1-1 ⑤その他の予測・評価に必要な事項」と同様とする。 | |

表 4-2-1-3 (2) 調査、予測及び評価の手法（振動）

| 項目 | | | 調査、予測及び評価の手法 | 方法書からの変更点 |
|---------|---------|---|---|-------------------------|
| 環境要素の区分 | 影響要因の区分 | | | |
| 大気環境 | 振動 | 振動 ・ 工事用資材等の搬出入、建設機械の稼働 ・ 太陽光パネル等の撤去・廃棄 | 3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺とした。 | |
| | | | 4 調査地点 ① 道路交通振動の状況 【現地調査】 主要なルートを代表する地点として、図 4-2-1-7に示した2地点とした。 ③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 「(1) 大気質（窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等）の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。 ④ 地盤の状況 【現地調査】 主要なルートを代表する地点として、図 4-2-1-7に示した2地点とした。 ⑤ 振動の状況 【現地調査】 図4-2-1-8に示した対象事業実施区域における環境振動を代表すると考えられる2地点とした。 | |
| | | | 5 調査期間等 ① 道路交通振動の状況 【現地調査】 道路交通振動の現地調査は、交通量が平均的となる平日（土日祝日の前後の日を除く）及び休日（土曜日）の6時～22時に実施した。 平日：令和元年11月21日（木）6時～22時 休日：令和2年11月7日（土）6時～22時 ② 沿道の状況 【文献その他資料調査】 最新の資料とした。 【現地調査】 「①道路交通振動の状況」の時期に実施した。 ③ 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況 「(1) 大気質（窒素酸化物、浮遊粒子状物質、炭化水素、粉じん等）の表 4-2-1-1 ③道路構造及び当該道路における交通量に係る状況」と同様とする。 ④ 地盤の状況 【文献その他資料調査】 最新の資料とした。 【現地調査】 「①道路交通振動の状況」の時期に実施した。 | 土曜日の工事実施を想定して休日調査を追加した。 |